

コミュニティ・スクールの取組を進める3つの柱と8つの重点項目

宇部市では、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進をめざして、3つの柱と8つの重点項目を設定し、コミュニティ・スクールの一層の充実を図っていきます。

1 地域学校協働活動の推進

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応が変更され、学校や地域における地域学校協働活動の充実が一層求められており、これまでの3年間で積み上げてきた協働活動の成果を生かし、大人の学びと児童生徒との交流が進むようにする。
- (2) 学校との地域学校協働活動推進員との日常的な連携を深めるとともに、社会教育推進委員会等、地域の関係団体との連携を深め、協働活動がよりスムーズに進むようにする。
- (3) 児童生徒の地域貢献意識の高揚を図るため、地域の特色を生かした学習を総合的な学習の時間を核として学校・地域連携カリキュラムに明確に位置づけ、計画的に実施し、継続的に改善する。
- (4) 各地域の実情に応じて児童生徒同士の交流、協働活動への参加、学校運営協議会同士の連携等、小中高連携を進めるとともに、卒業生としての高校生や大学生等幅広い世代を巻き込んだ協働活動を展開する。
- (5) 研修会への参加、情報交換、リーフレットの活用等により、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進の意義を地域、家庭、学校の間で理解できるようにする。



2 学校運営協議会の一層の充実

- (1) より幅広い児童生徒の参加・参画の方法を工夫して学校や地域の課題の解決に向けた熟議を充実させ、具体的な協働活動を進める。
- (2) 女性、若手など、より多様で持続可能な地域人材の参画を進め熟議の活性化を図るとともに、継続的な人材育成・発掘に努める。

3 保護者・地域に届く情報発信の充実

- (1) 学校ホームページやSNS等の活用による情報発信とともに、授業参観や協働活動等、直接的な情報発信にも努め、コミュニティ・スクールの保護者・地域への浸透を図る。